

# 大腿骨地域連携パスの使用率

## 【指標の説明】

パスとは、良質な医療を効率的、かつ安全・適正に提供するための手段として開発された、疾病ごとの診療計画をいいます。

手術後にリハビリテーション等が必要となる疾病では、手術担当病院と転院先のリハビリテーション実施病院・施設とが患者さんの診療計画を共有し、それぞれが役割分担して治療を行います。

このシステムを地域連携パスといい、大腿骨地域連携パスは大腿骨頸部骨折に関する地域連携パスです。

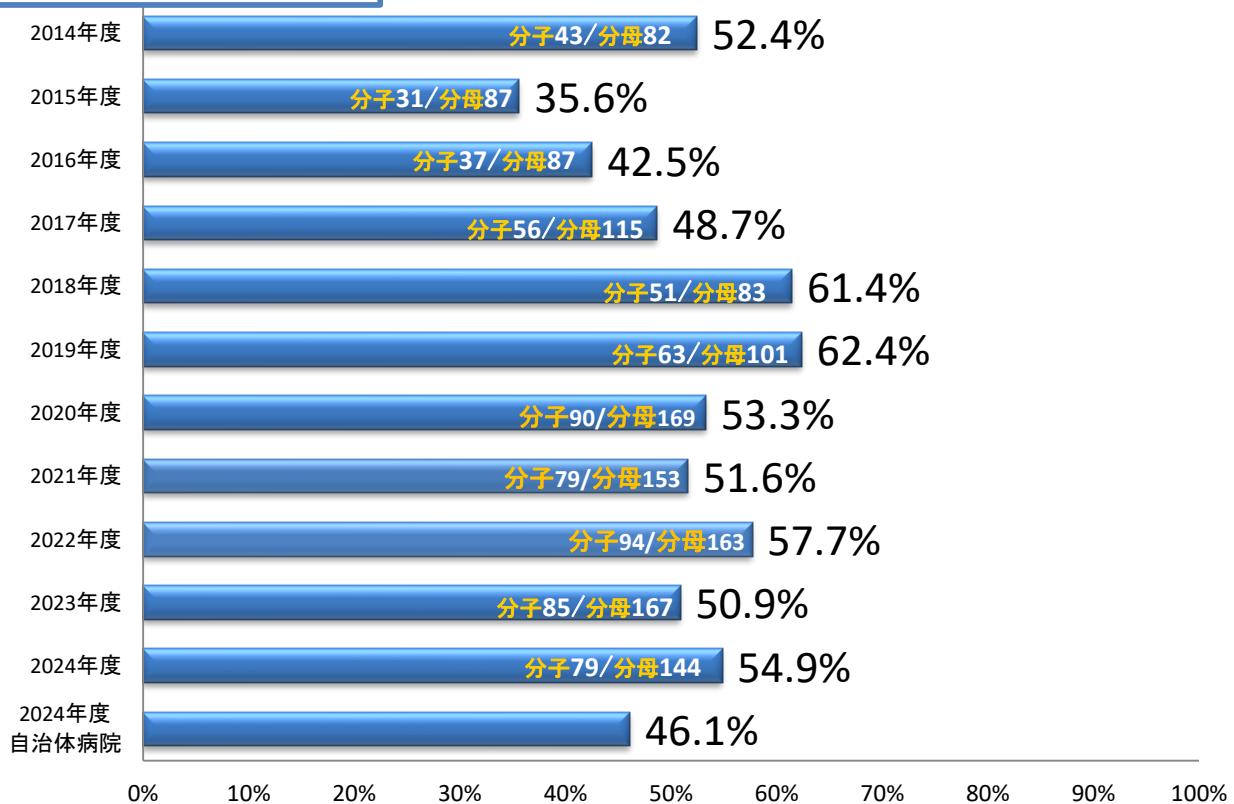
地域連携パスの運用は、医療連携がスムーズに行われ検査等の重複がなくなる、患者さんが診療計画を把握することで安心して治療に臨める、といったメリットがあります。

## 【定義】

全国自治体病院協議会「医療の質の評価・公表等推進事業」の定義に準じています。

分子	分母のうち、「地域連携診療計画加算」が算定された症例数
分母	<p>下記のすべてを満たす患者</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・退院日が調査期間内に含まれる(死亡退院を除く)</li><li>・大腿骨頸部骨折の患者(ICDコード S720 \$ 大腿骨頸部骨折)</li><li>・次の手術を行った患者<ul style="list-style-type: none"><li>K0461 骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿(ただし、大腿に限る) (レセプト電算コード 150019210)</li><li>K0811 人工骨頭挿入術 肩、股(ただし、股に限る) (レセプト電算コード 150049510)</li></ul></li></ul>

## 岐阜県立多治見病院の推移



数値比較:全国自治体病院協議会公表データのうち2023年度平均値(0を除く)